

令和4年度地方教育行政功労者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員及び教育長を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、今年度の表彰式は10月27日に文部科学省講堂で開催されました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏名	略歴 (期間)	主な功績
じんのうち 陣内 ゆうじ 雄次	栃木県教育委員会委員 (H27. 4. 1～R5. 12. 15)	「栃木県教育振興基本計画」の策定に熱心に取り組むとともに、計画の着実な推進を図った。また、学校・施設訪問や教職員等との意見交換などにより、学校現場等との相互理解の促進に努めるとともに、教員の育成や地域と学校の連携強化などに尽力した。
くどう 工藤 けいこ 敬子	栃木県教育委員会委員 (H27. 2. 25～R5. 2. 24)	「栃木県教育振興基本計画」の策定に熱心に取り組むとともに、計画の着実な推進を図った。また、学校現場の実情等を直接把握することに努め、「学校における働き方改革推進プラン」の策定など、子ども達にとって望ましい教育環境の整備に尽力した。
ふくい 福井 たかまさ 崇昌	小山市教育委員会委員 (H9. 10. 1～R3. 9. 30) 小山市教育委員会委員長 (H14. 3. 8～H28. 9. 30)	教育委員として6期24年間「未来を興す人づくり」を主眼に、市の教育振興に尽力し、先見的な英語教育推進や、県内初の義務教育学校設置など、革新的に教育環境を整備した。県や関東甲信越静連合会長など要職も歴任し、その灯標として、教育行政の是を県内外に示した。
いけ 池 あつこ 節子	壬生町教育委員会委員 (H6. 10. 1～R4. 9. 30) 壬生町教育委員会委員長 (H16. 2. 20～H27. 3. 31)	教育委員として7期28年間の長きにわたり、安全で健やかな町の教育活動を担保した。県家庭教育、社会教育の会長職も歴任し、学校教育と社会教育の強固な連携を築き、協働基盤を確立させた。町全体で児童生徒を守り、育てる教育環境は、他市町への範であり続けている。

<p>こぼり やすのり 小堀 康典</p>	<p>高根沢町教育委員会教育長 (H27. 4. 2～R3. 4. 1)</p>	<p>教育長として6年にわたり町の教育振興、充実、発展のために尽力した。特に、町版コミュニティ・スクール「みんなの学校」では、地域コンシェルジュが学校支援に関する地域人材の活用を効果的にコーディネートする仕組みを構築することで、「地域とともにある学校づくり」の推進に大きな成果をあげた。</p>
---------------------------	--	---